

会員拡大にご協力いただき ありがとうございました。

メンバー全員で会員拡大に取り組んでいます。
お知り合いの20～37歳未満の方で青年会議所に興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。
本年度入会者は次号にてご紹介させていただきます。



候補者説明会にて餅原先輩、藤村先輩、池田先輩に「青年会議所活動の魅力」について講演していただきました

豊田市の未来を一緒に創造しましょう！



2015年1月度例会にて出席率100%例会を達成しました

事業報告 日本JCじゃがいもクラブ 第40回中日本地区大会



5月17・18日に日本JCじゃがいもクラブ第40回中日本地区大会がOB、現役含め約150名の方に全国各地からお越しいただき貞宝カントリークラブにて盛大に開催することができました。昨年から準備を進め、設営LOMとしての役割を果たすことができました。ありがとうございました。



5月17日に名鉄トヨタホテルで役員会を開催

ウェルカムパーティにて新入会員がハカを披露

LOMメンバー丸となり設営

杉浦先輩による大会ピンフラッグ贈呈

大会実行委員長を務めた松本副理事長

地域と(一社)豊田青年会議所をつなぐ広報誌



LINK

LINK 2015.06 VOL.2 「過去と今、今と未来をつなぐ。想像以上の創造を」 第2号 発行：一般社団法人豊田青年会議所 編集：広報渉外委員会 http://www.toyotajc.jp 【お問い合わせ】〒471-0034 愛知県豊田市/坂本町1-25 TEL 0565-32-5777 FAX 0565-35-2021 MAIL info@toyotajc.jp

= 例会報告 =
なでしこジャパン (サッカー女子日本代表)
佐々木則夫 監督
「世界に誇る **日本人の心**」

= 特集 =
「ブルージャケットの歴史を紐解く」



第42回JC青年の船とうかい号



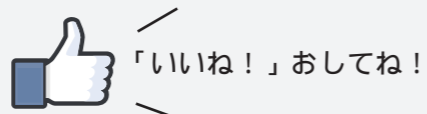
Junior Chamber International Toyota
一般社団法人 豊田青年会議所



ホームページ
<http://www.toyotajc.jp>

Facebookページ
<https://www.facebook.com/jcitoyota>

豊田JC



編集後記

検索

先日、日本JCじゃがいもクラブ第40回中日本地区大会が全国各地から多くの方にお越し頂き開催されました。当日ご参加いただいた先輩方、ありがとうございました。私も設営するなかで、日々の青年会議所活動をしなが、LOM一丸となつての一大行事に委員会の枠を超えた各々の協力と団結を感じました。これも「奉仕・修練・友情」を深めるきっかけになったのではないのでしょうか。この絆を次は何に活かせるか、どんな手段で地域を巻き込むか、次号以降も引き続き「見たい、知りたい、参加したい」と思っていたら活動が発信できればと思います。(広報渉外委員会・幹事 市川直美)



6月開幕のFIFA女子ワールドカップカナダ2015に出場する「なでしこジャパン」の監督を務める佐々木監督

【御礼】4月度例会には多くの企業・団体の皆様よりご協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

4月度例会

【テーマ】「私たちの誇るべきもの～Pride of NIPPON～」
 【日】4月3日（金）【会場】豊田市コンサートホール
 【担当】真の日本人創造委員会

サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」監督 佐々木則夫氏を講師としてお招きし、「私たちの誇るべきもの」をテーマに講演していただきました。世界を知る佐々木監督ならではのエピソードを交え、日本人の自己を犠牲にしても他者を助ける思いやりの気持ちや個人よりも全体を重んじる精神性は、他国よりも優れている「日本人の誇り」であるということ、多くの一般参加者に向けて分かりやすく発信していただきました。



による対談

務める豊田委員長 対談のコーディネーターを

1月度例会

【テーマ】「新年賀詞交歓会」【日】1月12日（月）
 【会場】名鉄トヨタホテル 金扇の間 【担当】会員交流委員会

日頃より私たちの活動に対して、深いご理解と温かいご支援をいただいております。太田豊田市長をはじめとするご来賓、行政関係者、関係諸団体、（一社）豊田青年会議所の先輩方など、多くの皆様のご臨席を賜り、新年の賀詞交歓にふさわしく華々しく開催しました。「明るい豊かな社会」の実現へ向けて柴田久尚理事長から、熱い想いを込めて2015年度活動方針が力強く発信され、メンバー達はそれぞれが、ご臨席いただいた皆様と交流を深めることで、地域の未来像を描き挑戦を続けていく私たちの活動を理解していただくことができました。



▲太田豊田市長より熱いメッセージをいただきました

▼「豊田市四郷地区の手保存会」による棒の手演舞

2月度例会

【テーマ】「魅力あふれる人材が地域の未来を創造する～地域のリーダーとなるために～」
 【日】2月18日（水）【会場】豊田産業文化センター 【担当】事務局

（公社）日本青年会議所で2014年度に会頭を務められた鈴木和也先輩（2015年度直前会頭）を講師としてお招きし、青年会議所活動を通して地域のリーダーになるためにはどうしたらよいのかを講演していただきました。会頭まで務め上げられ、地域はもちろん世界の青年会議所の活動を知る鈴木和也直前会頭ならではの講話から、改めて青年会議所の魅力を学び、これからの活動に対して自信を持って取り組んでいくことができるようになりました。



豊田市出身でもある鈴木和也直前会頭 理事長と直前会頭による対談

3月度例会

【日】3月18日（水）
 【会場】豊田産業文化センター
 【担当】豊田JCアカデミー創造会議

【テーマ】
 「LOVE RAPPORT TOYOTA CITY～人が輝き、魅力あふれるまちへ～」
 （一社）豊田青年会議所はこれまで様々な運動を発信してきました。来年55周年を迎える今、私たちだからこそできるアプローチを活かし、市民の皆様へ継続的に運動を提供していくことができる仕組みとして「豊田JCアカデミー」を開会いたしました。「豊田JCアカデミー」という新たな「旗」を通して、メンバー一人一人は今後の事業の軸を構築し継続的に発信することが、豊田市の輝かしい次世代を創り上げることができるという、意識の統一を図ることができました。



新たなスローガンが発信されました



委員会発表をする新入会員の鈴木英宏君

5月度例会

【日】5月20日（水）
 【会場】豊田商工会議所会館
 【担当】地域活力創造委員会

【テーマ】
 「～人間がチカラ！最高のやりがいを生み出す企業風土づくりとは～」
 ネットトヨタ南国（株）取締役相談役である横田英毅氏を講師としてお招きし、どのようにすれば従業員の会社に対する満足度を高めていくことができるのかについてご講演いただきました。そのためには給与や待遇といった数字になりやすく見えやすいものではなく、従業員一人ひとりが『働きたい』を感じながら仕事をすることができる企業風土をつくるのが最も大切なことであると実感することができました。



講師の話真剣に聴き入るメンバーたち



委員長まとめをする永井委員長

新年祈願祭

【日】1月12日（月）
 【会場】挙母神社
 2015年度の活動のスタートに際して理事会構成メンバー28名が一堂に会し、一年間の活動の成功とメンバー一人ひとりの健康と安全を祈願しました。



監事バッチ引き継ぎ式

【日】1月15日（木）
 【会場】豊田商工会議所会館
 2年間の任期を全うされた、中村隆志、松谷一機先輩から新任の福田功二、梅村幸司君へ監事バッチが引き継がれました。



京都會議LOMナイト

【日】1月24日（土）
 【会場】ハイアットリージェンシー 京都
 100名以上のメンバーに加え、毎年交流を続ける（一社）土別青年会議所の皆様をお招きし、盛大にLOMナイトを開催。横山議長をはじめとする多くの出向者を激励いたしました。



名古屋会議

【日】2月7日（土）
 【会場】愛知学院大学 日進キャンパス
 愛知ブロック協議会2015年度、最初の運動発信の場として名古屋会議が開催されました。当LOMからも愛知ブロックに多くの出向者を輩出してあります。



天下祭

【日】2月8日（日）
 【会場】松平郷まつり広場
 今年で28回を迎える天下祭には、川合雄造先輩（第54代理事長）・板垣直人君が座主を務め、玉競りには特別会員・現役メンバーが裸男として参加しました。



豊田JCシニアクラブ第5回定時総会

【日】2月24日（火）
 【会場】名鉄トヨタホテル
 豊田JCシニアクラブ第5回定時総会が開催され、70名を超えるメンバーにご出席いただきました。「日本のシーレーン」をテーマとし、柴田雅裕氏に講演いただきました。



「とうかい号」LOM内オリエンテーション

【日】3月28日（土）
 【会場】とよた市民活動センター
 昨年度「とうかい号」でチームリーダー部長を務めた川合雄造先輩を講師としてお招きし、7泊8日の研修について乗船経験に基づき講演していただきました。



第81回定時総会

【日】1月12日（月）
 【会場】名鉄トヨタホテル
 第81回定時総会において2014年度の事業報告並びに決算が可決され、2014年度が無事に終了しました。議長は篠田貴正くんが務めました。



京都會議

【日】1月23日（金）～25日（日）
 【会場】国立京都国際会館
 （公社）日本青年会議所の新たなスタートの場である、京都會議が「核心の追求 すべては未来を生きる人のために～文化と文明が生み出す『底知れぬ力』による日本再興～」をメインテーマに開催されました。



ブロックアカデミー開校式

【日】2月1日（日）
 【会場】メルパルク名古屋
 新入会員16名が愛知ブロックアカデミー委員会に出向いたします。開校式が行われ、2名の塾リーダーが誕生いたしました。



名古屋会議LOMナイト

【日】2月7日（土）
 【会場】岩崎台倶楽部 グラスグラス
 愛知ブロック協議会の出向者激励の意を込めてLOMナイトが開催されました。30名の出向者が出向に対する抱負を語っております。



男爵の会

【日】2月9日（月）
 【会場】名鉄トヨタホテル
 特別会員の豊田市市議の方と年に一度会合を開き、意見交換を行います。河合市議、光岡市議、加藤市議の三名が退職されました。



からだを強くする会（じゃがいも）

【日】3月10日（火）
 【会場】貞宝カントリークラブ
 特別会員の先輩方と現役メンバーの交流を深めることを目的としてゴルフコンペを開催し、顧問を藤村匡泰先輩・餅原幹也先輩に務めていただきました。



西三河10JC理事長会議（じゃがいも）

【日】4月20日（月）
 【会場】葵カントリークラブ
 西三河にある10の青年会議所が集まり、毎月意見交換が行われています。年二回開催される春季ゴルフ大会で（一社）豊田青年会議所が優勝しました。



第42回「JC青年の船とうかい号」

本年度で42回目を迎える研修船「とうかい号」には、豊田市内の企業より18名の乗船者をご輩出いただきました。

- ・伊藤建設（株）様…1名
- ・（株）トヨタ中央自動車学校様…1名
- ・（株）陣内工業所様…1名
- ・豊田電気（株）様…1名
- ・太啓建設（株）様…3名
- ・名古屋東部陸運（株）様…1名
- ・（株）拓植新聞店様…1名
- ・ホームックス（株）様…1名
- ・豊岡商事（株）様…1名
- ・矢作産業（株）様…2名
- ・豊田化学工業（株）様…1名
- ・（株）山信商店様…4名



「とうかい号」担当委員より【会員交流委員会 委員長・吉田京樹】多くの人材をご輩出いただき、本当にありがとうございました。乗船者の皆様7泊8日に渡る研修を有意義なものになるよう、精一杯バックアップさせていただきます。



特集 2つのブルージャケットに込められた歴史を紐解く。

豊田青年会議所にあった2つの「ブルージャケット」。

現在では使われていないブルージャケットですが、いまでもその当時の想いは現役メンバーへ引き継がれています。そこで今回の特集では、この2つのブルージャケットに関係する先輩たちにインタビューさせていただき、当時のお話を伺って参りました。

「Blue Jacket」から「LINK」へ

豊田青年会議所には「Blue Jacket」という広報誌があり、広報誌「LINK」を発刊するにあたり、まず「Blue Jacket」を手にとるところからはじめました。(社)豊田青年会議所事務局には1992年(第328号)から2002年(第411号)までの「Blue Jacket」が保管されており、年度ごとに内容やデザインが違い、非常に工夫が凝らされた出来映えで担当委員会の想いや時代の流れを感じることができました。今回は、2002年度広報委員会委員長を務められた能見直樹先輩に当時の想いを伺いました。

広報委員会 委員長に指名された時はどんな気持ちでしたか。

能見 自分自身、JCで広報の経験が全くなかったものですから正直不安でした。新聞に携わる職業だから指名されたのかなと思いました。

広報委員会 委員長を受けるにあたり、どんなことから取りかかりましたか。

能見 まずは委員会メンバーと一緒に、これまでに発刊された広報誌「Blue Jacket」の調査・研究に取りかかりました。それから、自分のカメラを購入しました。

広報に特化する委員会になった理由はあったのですか。

能見 例年は広報業務と渉外業務を担当する広報渉外委員会になるところでしたが、時の第43代芳賀理事長の「広報に力を入れていきたい」という思いから広報委員会が誕生しました。理由の一つとしては、インターネットの普及に伴いホームページの重要性が増してきたという時代背景がありました。

広報誌の編集にあたり、注力されたことを教えてください。

能見 まずは、見やすさ読みやすさです。文字の大きさや写真の配置など毎号試行錯誤を繰り返しながら作り上げてきました。委員会メンバー一丸となって編集した広報誌が印刷され、手に取って見た時は何とも言えない充実感を味わいました。毎号いろいろな意見をもらいながら「次号はより良いものを」という想いで計7回(第405号～第411号)発刊しました。



能見 直樹 先輩 (有)能見新聞店 代表
2002年…広報委員会委員長
2004年…副理事長

2002年度の広報誌において、どんなことにこだわられましたか。

能見 まずは表紙です。豊田青年会議所は2001年に40周年を迎え、新たに50周年を目指した1年目でした。そこで毎号の表紙には長い歴史を経て「時の流れ」を表現することができる写真を掲載しました。第411号では鳥取砂丘に傾いたグラスで表現しています。これは実際に自分自身が撮影した写真です。また、広報誌のタイトルを「Blue Jacket」から「ぶるーじゃけっと」へと平仮名表記に変更しました。

能見先輩にとって最も想い入れの強い広報誌は第何号ですか。

能見 やはり2002年の締めくくりとして発刊した第411号です。一年間の委員会活動の集大成として全てを注ぎ込みました。僕自身だけでなく委員会メンバーにとっても特別な号になったのではないのでしょうか。

最後に本年度より発刊している広報誌「LINK」について一言をお願いします。

能見 よく作り込まれていて内容も充実していると感じます。なによりフルカラーで見やすい。これからも紙媒体ならではの「活字の力」を十分に発揮した広報誌になることを期待しながら、毎号を楽しみにしています。

取材にご協力いただきました能見先輩、ありがとうございました。



【写真】「ぶるーじゃけっと」第411号を持つ能見直樹先輩と
広報誌「LINK」創刊号を持つ広報渉外委員会・鈴木健太郎委員長

過去のブルージャケット表紙



NO.335号(1992年) NO.360号(1995年) NO.380号(1997年)

「ブルージャケット」から「ブルーベスト」へ

広報誌「Blue Jacket」のタイトルはブルージャケットという水色のジャケットに由来しています。この度、実際のブルージャケットを能見先輩よりお借りすることができました。

さらに、2004年度 第45代理事長 市川善英先輩をご紹介くださりまして、ブルージャケットについてお話を伺うことができました。

どのような場面でブルージャケットを着用していたのでしょうか。

市川 例会や総会など豊田青年会議所の公式行事において着用し、それが正装でした。あくまでも青年会議所の活動中だけ着用し、それが終われば各自のジャケットに着替えるというスタイルでした。広報誌「Blue Jacket」にもブルージャケットに身を包んだメンバー達が掲載されていますよね。

ブルージャケットには、どのくらいの歴史があるのでしょうか。

市川 1981年、豊田青年会議所の20周年を記念して、メンバーの統一ジャケットを作成したことから、ブルージャケットの歴史は始まり、翌年以降も新しく入会したメンバーが新調することで脈々と継続されてきました。

市川先輩は理事長在任時、ブルージャケットのターニングポイントを迎えられましたが、どのような想いをお持ちだったのでしょうか。

市川 ブルージャケットは1981年に始まり20年以上続いてきました。確かにメンバー同士の一体感を得ることができるなどのメリットはありましたが、2000年代に入り青年会議所活動が対外的な方向にシフトしつつある中で、メンバーだけが統一ジャケットを着用している姿が少しずつ時代にそぐわなくなってきたと感じるようになりました。そこで総会において「2004年は一旦やめてみますが、必要であれば2005年以降いつでも復活させてください」という提案をしました。

現在では対外事業において、メンバー統一の水色のLOMベストを着用し設営にあたっています。他にもハッピーや旗などに水色が継承されています。

市川 それは良いですね。機能的であり使うことができる機会が多そうです。あえてブルージャケットの色である水色を採用していることに感動しました。

最後に広報誌「LINK」について一言お願いいたします。

市川 広報誌「Blue Jacket」は2002年をもって終了しました。これは会員数の減少による予算面での理由とインターネット環境の普及によります。あれから10年以上が経ち様々なSNSが発達してきた時代背景の中で、あえて広報誌を復活させたことが素晴らしい。OBである私たち特別会員が現役の皆さんの活動を知る機会、広報誌が一番適していると思います。これからも広報誌「LINK」を楽しみにしています。



現在のLOMベスト



市川 善英 先輩 (株)市川塗工店・代表取締役 45代理事長(2004年)

55周年に向けて 55周年からその先へ!

先日開催されました3月度例会にて今後の(社)豊田青年会議所の進むべき道が示され、スローガンと行動指針が豊田JCアカデミー創造会議より発表されました。合わせて、我々が今まで作り上げたプログラムをプログラムショーケースとして土曜授業等で活用できるようにまとめ、地域の方から依頼があれば、授業を行って参ります。

『スローガン』
LOVE RAPPORT TOYOTA CITY
～人が輝き、魅力あふれるまちへ～

『活動指針』
○誇りあるところ ○力強い次世代 ○安全・安心なまちの創造
すべては未来の豊田のために

『プログラムショーケース』
○防災プレパプログラム ○チャレンジタグラグビープログラム ○真の日本人プログラム



◀新たなロゴマーク

委員会紹介 委員会の“あんなこと” “こんなこと” インタビューしてきました！

地域活力創造委員会 委員長：永井知彦

…今取り組んでいる9月度例会についてどのようなものにしてほしいと思われていますか？

永井 はい、9月度例会は土曜授業を活かした豊田J.Cの運動発信を考えています。

…具体的にはどのような運動発信を考えているのですか？

永井 3月度例会で数井議長率いる豊田J.Cアカデミー創造会議が掲げた『LOVE RAPPORT TOYOTA CITY』のプログラムショーケースを実践する場を考えています。

…なるほど、いよいよ土曜授業で活用されるんですね。

永井 そうです。豊田市内では土曜授業が行われてはいますが、毎回の内容に困っている学校が多いのが現状です。9月度例会ではJ.Cならではのプログラムを実践し土曜授業のモデルケースを提案します。それが市内全域に広がり土曜授業とともにJ.Cのプログラムも広まるという展開を考えています。ただ、我々は地域の活力を創造することがミッションの委員会ですので、土曜授業では地域の企業を巻き込み地域コミュニティを強化していくことも狙いです。

…ありがとうございました。9月度例会の成功を心からお祈りします！



<写真>上段左から 近藤委員、安山委員、矢野委員、蟹幹事
下段左から 鈴木委員、水野副委員長、永井委員長、鈴木副委員長、今野アドバイザー

市民の誇り創造委員会 委員長：坂元貞仁



<写真>左から 矢野アドバイザー、中根委員、松山幹事、坂元委員長、松田委員、西方委員、市川副委員長、加藤委員

…担当する6月度例会はどのような例会になるのですか。

坂元 豊田市の近現代史にスポットを当て、今の豊田市の礎を築かれた先人達を紹介していきます。加藤正一氏（元豊田市長）、川合直道氏（元豊田市農業協同組合代表理事組合長・加茂蚕糸販売農業協同組合連合会会長）、安藤勇氏（元豊田市郷土資料館館長）の三名にお越しいただき、豊田市について会場の皆さんと熱く語り合いたいと思います。

…郷土の偉人たちは新しい着眼点ですね。

坂元 その人達がいなかったら今の豊田市はないのではないのでしょうか。三名とも例会の日を非常に楽しみにしていますので、多くの方に参加していただきたいです。

…坂元委員長が心がけている委員会運営について聞かせてください。

坂元 このメンバーで活動することができるのは今年度だけです。一人ひとりが明るく楽しく元気に活動することができるような雰囲気作りを三役一同で心がけています。

…この委員会のムードメーカーは？

坂元 やはり新入会員の中根君と松田君です。いつも委員会を盛り上げてくれています。そしてラストイヤーの矢野アドバイザー、加藤さんが最高の思い出を作ることができるようにしています。

…ありがとうございました。6月度例会が今から楽しみです。

メンバー紹介 仕事にJC活動にがんばるメンバーを紹介します！

市川直美さん 勤務先：メリアポータ 入会：2013年度

豊田市内にて、ボディメイクや年齢によるお悩みに対応するお顔のエイジングケアに特化したエステサロンを経営しています。一人でも多くの方が「理想の自分」を実現することで、明るく前向きな気持ちで過ごしていただけるよう、日々サポートしています。入会前は自分の好きなこと、やりたい仕事だけを選ぶ立場で過ごすことが当たり前だった私にとって、仕事や家庭・プライベートから時間を捻出して行う青年会議所活動は修練と気づきの場でした。自分に足りないものを痛感しながらも、常に激励してくれるメンバーとのつながり。入会前よりも時間が足りないのに、今ではサロンづくりに時間を費やすようになりました。たくさんの仲間から受ける刺激の中で少しずつ変化していく自分を、家庭や職場で形にして活かせるよう今後も楽しみながら活動していきたいです。



瀬内孝幸くん 勤務先：セウチダンススクール 入会：2014年度

豊田市内にてダンススクールを経営しています。お子様から大人まで楽しんでいただけるアットホームなスクールづくりを心がけています。レッスンには3世代でステップを踏み家族の絆を深められたり、音楽に合わせて踊ることで心も身体も豊かにされる方が通われています。健康維持・ストレス解消・ダイエットなど様々なニーズにお応えしています。入会して感じたことは「豊田市のまちづくりをしているのは（一社）豊田青年会議所メンバーやご卒業された先輩方である」ということ。私が幼い頃に参加した『豊田リスクラブ』が、（一社）豊田青年会議所の先輩方が始められたことを知った時はとても感銘を受けました。経営者にとって会社の成長はまさに試行錯誤の連続です。入会して良かったと思うことは、大企業のような組織作りを体験できたり、異業種のメンバーから経営に対する様々な考え方や方法について意見を交わすことができることです。青年会議所活動を通して得ることができた多くの気づきは、自企業にとって大きな財産となりました。また、社会人としても固い信頼関係で結ばれ、相談することができる仲間にも恵まれました。これからもいろいろな学びを得て自分自身の成長に繋げていきたいです。



暮らし満足都市創造委員会 委員長：孕石雅司



<写真>左から 鈴木副委員長、孕石委員長、長尾幹事、岩井アドバイザー、鈴木委員、近藤委員、竹本委員

…今、動かれている例会に対して、主なPR、どの様な例会かということを一言で教えていただけますか？

孕石 豊田市を暮らし満足都市にするにはどうしたらいいか、を考えていく例会となっています。そのためには何が必要で、どうしていったらいいのか。公開例会であるこの例会で考えて、市民の皆さんに発信していく例会としていきたいと考えています。

…対外例会ということなので、市民の皆さんにどんなところ、またどんな内容を一番みてほしいか、教えてください。

孕石 参加して頂ける市民の皆さんへは、ご自身の住んでいる地域に魅力を感じ、この町に住みたいとか、一回出て行ってもまた戻ってきたいと思える人を増やすことが暮らし満足都市の創造に繋がるということを理解して頂ければと思っています。

後は例会に参加された方が地域とのつながりを積極的に持ち、地域の魅力を支え自ら発信していく存在になって頂ければと考えております。

…では、最後にこちらの委員会はこういった雰囲気の良い委員会でしょうか。

孕石 自由な雰囲気がポイントの委員会となっています。各々が自由に楽しい雰囲気の中、やるところはしっかりとやる。そんな委員会となる様心掛けています。

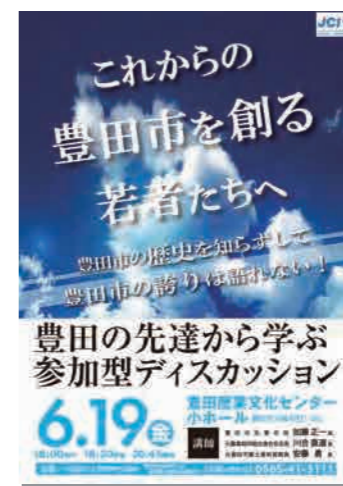
…ありがとうございました。参加された方の心に響く様な例会になる事を祈っております！

例会・事業のご案内 詳細はホームページをご覧ください

6月度例会（公開例会）

【6月19日（金）豊田産業文化センター】
誇りあふれる市民の創造
～先達の熱き想いから学ぶ、豊田市の未来～

これからの青年会議所活動をより有意義にするためには、豊田市の過去から学び、今を知り、そして、未来を創ることが必要であると考えます。当例会では豊田市の歴史から今の豊田市を知っていただき、そして、豊田市の誇りを提唱させていただきます。加藤元豊田市長をはじめとする豊田市の歴史を知る三名の講師をお招きし、参加型ディスカッション形式にて例会を進めてまいります。豊田市の誇りについて考えてみましょう。



7月度例会（公開例会）

様々な暮らし満足要素の中から、自らの暮らしをより充実させるためには何に取り組むべきか、次代を担うことも私たちとともに考えます。

8月度例会（公開例会）

グローバル化する社会において、日本の未来の理想像を描き、実現するために行動できる「真の日本人」を創造します。

8月度事業（対外事業）

新たな友情や地域に対する思いやりの心を育み、そこから市民の「和」が広がり次代に向けて夢を想像して参ります。

櫻井基泰くん 勤務先：豊田信用金庫 入会：2014年度

豊田信用金庫は、戦後の復興期に地元の商工業者の方々が発起人となり、「自分たちの金融機関」を旗じるしに生まれた協同組織の金融機関です。創業以来、地域の皆様やそこで生まれた中小企業の方々と手を携え、互助の精神のもと誠心誠意、地域の発展に尽力してまいりました。豊田市に本拠地をかまえ、愛知県下38店舗あり、地域の皆様からの信頼を力に、地域創造型の金融機関となることを目指しています。現在私は、本店営業部得意先係として預金相談から融資相談・資産運用・保険等様々な分野でお客様を訪問しご希望に添えるよう提案をさせていただいております。（一社）豊田青年会議所には、企業出向として入会させていただきました。最初に話を聞いたときは断ろうと思いましたが、今では人との出会いのすばらしさを改めて実感し、出向して良かったと心から思います。今後の活動の中で、メンバーと共に学び、共に成長していくことが楽しみです。



中根章介くん 勤務先：(株)SAUNS 入会：2014年度

愛知県を中心に新築住宅やリフォーム、店舗などの設計・施工・管理をしています。SAUNS=solid work=bright future (SAUNSは確かな仕事をします。その先にはお客様や社員みんなの明るい未来が待っている)を会社理念に掲げ、仕事を通して少しでも多くの笑顔を創ることができる会社を目指しています。ですが想い描いた会社作りができないまま開業して12年が過ぎてしまっていた中、（一社）豊田青年会議所を知りました。入会して多くの方と出会いそれぞれの考え方や想い・夢を身近で感じることで、今自分がやらなければならないこと、自分のビジョンを明確に考えることができるようになりました。また、かけがえのない友達もできました。家庭や仕事そして豊田市のことを共に考え助け合い、共に成長することができるメンバーと青年会議所活動を進進していきたいです。

